

カリセン

つうしん
通信 NO.115

カリキュラム開発支援センター

子どもに届く確かな授業をめざして！
明日の授業づくりをサポートします



令和4年12月号 京都市総合教育センター

カリセンでは、^{カリキュラム}教育課程の開発と研修を支援しています。

人権教育コーナー活用のご案内

カリキュラム開発支援センターでは、京都市立学校・園の授業改善に向けた工夫や教材づくりについて、教育情報の提供を行ったり、サポートをしたりしています。

今回は、「人権教育コーナー」の活用について、ご案内いたします。

京都の南座に「まねき」が上がり、師走の声を聞くと、いよいよ今年もあとひと月、年の瀬を感じる頃となりました。

京都市では、12月を「人権月間」と定め、各学校・園でも、「人権月間」の取組がすすめられています。

カリセンには、「人権月間」の取組に参考となる本や絵本、ビデオ、学習指導案等、人権教育に関する資料を多く配架しています。



特に、情報資料室の書棚の一角には、「人権教育コーナー」として、わかりやすく分類して配架しています。校内研修の参考にされることはもとより、教職員のみならず、鋭い人権感覚を磨くためにも、個人研修で有効に活用していただきたいと思っています。

最近「ダイバーシティ」という言葉をよく耳にするようになりました。「多様性の時代」と呼ばれる時代を迎え、メディア等を通しても「人権にかかわる新しい課題」がクローズアップされて伝えられています。カリセンでは、時代に即した新しい情報にもアンテナを張って、みなさんのニーズに応えられるよう日々努めています。

どうぞ、若い教職員の方だけでなく、中堅やベテランと呼ばれる教職員の方々も、ぜひ来室していただき、本や雑誌、資料等を手に取ってご覧ください。

お探しになりたい資料がわからないときや、「こんな資料があれば助かるのですが、そのようなものはありますか？」などのご質問やご相談があれば、いつでもカリセン職員にご相談ください。電話や電子メールでも、対応させていただきます。

(カリキュラム開発支援センター：TEL 075-371-2341)



今月は企画展も「人権教育」
がテーマです。

カリセンでは、多数の教育雑誌を配架・貸出しています。今月号より、教育雑誌の紹介の記事を増やし、たくさんの方に読んだり、参考にしたりしてほしいと思っています。どうぞ、カリセン前通路にお越しください。

「教育音楽：小学校版・中学校・高校版」の卒業特集を紹介します。少し早いかもしれませんが、参考にしてはいかがでしょうか。どうぞ、ご活用ください。(Email で貸出の申し込みができます)



タイトルより

2022. 2月号「卒業ソング」

作者からのメッセージ

- ・旅立ちの日に **高橋浩美**
「ありがとう」を伝えたい人へ
- ・群青 **小田美樹**
「きっとまた会おう」に込める思い
- ・大切なもの **山崎朋子**
悔いのない卒業式に
季節を問わず「相手を励ます歌」
- ・絆 **山崎朋子**
「絆」が人生を拓く
- ・明日へつなぐもの **梅野知子**
「あのとき歌った歌、あのとき聴いた歌」
という大切な記憶
「明日へつなぐもの」とは？

2022. 3月号「卒業式と最後の授業」 **音楽科に「今」できること**

「今、見つけ出せる歌の可能性～卒業式の取組に向けて～」 「子どもたちの思い出とともに」
「『仲間とならできる！』が体験できるように」 「教師は、卒業へと向かう子どもらの演出家」
「再考・卒業式—なぜ、歌いたいと思うのか」



タイトルより

2022. 2月号「卒業ソング」

作者からのメッセージ

- ・旅立ちの日に **高橋浩美**
「ありがとう」を伝えたい人へ
- ・群青 **小田美樹**
「きっとまた会おう」に込める思い
- ・大切なもの **山崎朋子**
悔いのない卒業式に
季節を問わず「相手を励ます歌」
- ・絆 **山崎朋子**
「絆」が人生を拓く
- ・時を超えて **梅野知子**
「あのとき歌った歌、あのとき聴いた歌」
という大切な記憶
きっと、羽ばたける日がくる

2022. 3月号「卒業式と最後の授業」 **音楽科に「今」できること**

「今、見つけ出せる歌の可能性～卒業式の取組に向けて～」 「出会いと別れに寄り添う音楽」
「目に見えない、手で触れることのできない『音楽の不思議』を伝えたい」
「一つ一つの授業が思い出となるように」 「再考・卒業式—なぜ、歌いたいと思うのか」



図書案内



今月は「人権月間」にちなんだ本を紹介します



世界中の
子どもの権利をまもる
30の方法
だれひとり置き去りにしない！
国際子ども権利センター：編
甲斐田万智子：著
合同出版



身の回りから人権を考える
80のヒント
武部康広：著 解放出版社

SDGsの達成と子どもの権利の実現は、深く関係しています。様々な背景をもつ子どもたちがありのままの自分に価値があると認められ力を発揮できること、一人一人の違いが大切にされること・・・誰もが生きやすい社会につながるアプローチについて実践的に学ぶことができます。1冊です。

企業の人権啓発資料の記事の中から80篇が収録されています。社会の出来事、映画、テレビ、新聞、書籍（絵本も含む）などから、幅広く人権という視点で筆者の思いが語られます。身近なテーマ、穏やかな言葉による問い掛けは、読者である私たちも「人権」を自分事として考えるきっかけとなります。

11・12月の企画展

「人権教育」の充実をめざして

令和4年11月8日(火)～12月28日(水) 総合教育センター3階 エレベーターホール前

1. 子どもにかかわる課題
2. 男女平等にかかわる課題
3. 障害のある人にかかわる課題
4. 同和問題にかかわる課題
5. 外国人・外国籍市民等に関わる課題
6. HIV感染者等にかかわる課題
7. その他の課題



特設展 「京都を学ぶ」

～「伝統と文化を受け継ぎ、

次代と自らの未来を創造する子どもの育成」をめざして～

同時開催しています！

中京区 錦市場

■カリセン開室時間(通常)

月曜日～金曜日…午前9時～午後9時 (第1月曜日と毎週木曜日は午後5時15分まで)

土曜日…午前9時～午後5時

※年末・年始…12月27日(火)・28日(水)・1月4日(水)は午後5時15分まで